

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和05年06月15日(木)

事務事業		予防接種事業			担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	29121
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち			事業区分	■ 自治事務 ■ 法定受託事務			
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり			根拠法令 個別計画等	予防接種法 深谷市行政措置予防接種実施要綱 深谷市任意予防接種費用助成金交付要綱			
	小項目	1	健康づくりの推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業はA類疾病（ロタ胃腸炎、ポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風、ヒブ、肺炎球菌、B型肝炎、結核、麻疹、風疹（第5期含む）、水痘、日本脳炎、子宮頸がん）及び、B類疾病（高齢者インフル、高齢者肺炎球菌）の発症・重症化防止として、予防接種法・市行政措置予防接種実施要綱に定めた年齢の市民を対象に、接種機会の安定的確保、高い接種率の維持を目指すものである。令和2年度より新型コロナワクチン臨時接種を実施。								
目的 ※何のために		A類疾病の発生及び蔓延予防、B類疾病の個人の発病また重症化防止、新型コロナウイルスの感染拡大及び重症化防止のため。								
対象 ※誰・何を対象に		・予防接種法または深谷市行政措置予防接種実施要綱に定められた年齢の市民								
手段 ※どのように		・委託医療機関での個別接種 ・臨時接種は集団接種及び個別接種 ・任意予防接種の費用助成								
成果 ※何を求めるか		予防接種の接種機会を安定的に確保することにより、接種率の維持・向上を図ることができ、感染症の発生及び蔓延を防止し、市民の感染症の発病また重症化リスクを軽減することができる。								
執行体制		■職員 ■一部委託 □全部委託 □指定管理 □市民ボランティア □NPO等 □その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	4	衛生費	1 保健衛生費	2 予防接種費	予防接種事業		406,837,626	
		一般会計	4	衛生費	1 保健衛生費	2 予防接種費	新型コロナウイルスワクチン臨時接種事業		1,416,326,907	
		一般会計	4	衛生費	1 保健衛生費	2 予防接種費	新型コロナウイルスワクチン臨時接種事業		4,598,586	
本事業の 主な業務		・個別予防接種（A類疾病）				・				
		・個別予防接種（B類疾病）				・				
		・行政措置予防接種（高齢者肺炎球菌）：市単独				・				
		・予防接種補助金交付（委託契約医療機関外での接種）				・				
		・臨時接種事業（新型コロナワクチン）導入・実施				・				
		・造血細胞移植後ワクチン再接種費用補助				・				

## 2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		・臨時接種（新型コロナ）実施	・風疹追加的対策の継続・子宮頸がんキャッチアップ接種の開始・臨時接種の継続	・臨時接種（新型コロナ）継続・任意予防接種費用助成制度の新設	・予防接種法改正に対応した定期予防接種の実施		
事業費	予算（現額）	1,666,810,000	1,900,155,000	491,602,000	514,693,000		
	決算額	1,545,832,010	1,827,763,119	0	0		
	財源内訳						
	国支出金	1,146,624,561	912,481,680	6,078,000	3,330,000		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
人件費	他特定財源	2,345,277	1,259,965	0	0		
	一般財源	396,862,172	914,021,474	485,524,000	511,363,000		
総事業費試算		1,587,979,208	1,866,717,426	526,764,500	549,855,500		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 1	接種勧奨回数		目標値	回	22.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
			実績値		43.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			接種状況を見ながら啓発を図る。						
	実績値の算出式									
成果指標 1	麻疹風しん（第1期）接種率		目標値	%	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
			実績値		92.80					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			国の麻疹排除計画における接種率を目標値として設定 / 接種率						
	実績値の算出式									
成果指標 2	高齢者インフルエンザ接種率		目標値	%	60.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
			実績値		70.20					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の実績から目標値を設定 / 接種率						
	実績値の算出式									
成果指標 3	1歳～就学前までの麻疹罹患率		目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績値		0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			国の麻疹排除計画における目標値と同様 / 罹患率（保健所：感染症発症動向						
	実績値の算出式									
成果指標 4	1歳～就学前までの風しん罹患率		目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績値		0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			国の麻疹排除計画における目標値に連動して設定 / 罹患率（保健所：感染症発症動向						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	乳児・学童期の予診票等を毎月個別通知。新生児訪問・乳幼児健診、子宮頸がん・二種混合は学校保健と連携し接種を勧奨。A類疾病では接種率により個別通知・市メール配信等で接種勧奨を実施。風しん追加的対策は時限的措置であるため勧奨を実施。新型コロナ臨時接種については、国の随時の方針変更に対応し対象者への接種券を発行するなど、予防接種事業全般において、きめ細かく周知・啓発を図ったことから、評価をAとした。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	予防接種全体では概ね接種率を維持できたが、麻疹風しん（第1期）接種率が目標値に届かなかった。麻疹風しん接種率については全国的に低い傾向にあったが、市内において麻疹・風しんの発症がなかったことは幸いであった。海外での流行状況をみると、今後も接種率の95%以上維持は重要であることから、評価をBとした。
			評価者 健康推進係長 鳥羽久美子

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	新型コロナ臨時接種については、継続して専用予約管理システム・コールセンターを設置し、事務の効率化と市民の利便性を図った。また、令和2年度からの予診票数は膨大であり、データとともに適切な管理が必要であることから、業務委託により予診票のパンチデータ化を実施し、予防接種台帳である健康管理システムへのデータ取込を開始し、事務の効率化、精度の向上を図ることができた。
			評価者 健康推進係長 鳥羽久美子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	・新型コロナワクチン臨時接種について、国の動向に注視しつつ、接種期限を見据えた安心、円滑な接種の継続 ・予防接種法の改正に基づく円滑な予防接種の導入・実施 ・接種記録データ管理の精度向上、効率化を検討する。
達成状況及び その効果	新型コロナ臨時接種については、接種期限の延長や随時の国の方針変更に対応しながら、体制整備、接種券発行、周知等を実施。また子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ世代に対し、年度当初に予診票発送・周知啓発を行う等により円滑に導入することができた。接種記録データ管理では、新型コロナ接種について委託による予診票のパンチデータ化、健康管理システムへの取込により、データの精度向上、効率化を図ることができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	予防接種事業	担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	29121
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div>□ ②現状のまま継続</div> <div>□ ③見直して継続</div> <div>□ ④目的達成による終了</div> <div>□ ⑤廃止を検討</div> <div>□ 委託化等の検討</div> <div>□ 成果向上のための改善</div> <div>□ 効率化のための改善</div> <div>□ 事業規模の縮小</div> <div>□ 他の事務事業と統合</div>		評価の内容説明					
		新型コロナ臨時接種は令和4年9月末までの接種期限であったが、令和4年度秋冬接種の実施という方針に変更となり、その後、臨時接種の位置づけが令和5年度までとされた経緯がある。令和6年度には定期接種化の方針もある。また定期予防接種についても、子宮頸がんキャッチアップ接種導入が行われるなど、予防接種全般について、今後も国の動向に注視しながら体制整備を進め、感染症の発症・重症化防止に努めていく必要がある。併せて、市民の感染症罹患のリスクを軽減するため、予防接種で防ぎうる感染症についての対策を検討していく必要がある。新型コロナ接種予診票のパンチデータ化により事業の効率及び精度の向上が図れたことから、全ての予防接種について予診票のデータ化を進めていきたい。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	保健センター所長 穂山光昌				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	・新型コロナ臨時接種について、国の動向に注視しながら、円滑な接種の継続と定期接種化に向けた準備を進める。 ・市民の感染症罹患のリスクを軽減するため、任意予防接種費用助成制度を新設する ・接種データ管理の精度向上、効率化を行う。(高齢者インフルエンザ接種)
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	・全ての予防接種の接種データ管理の精度向上、効率化を図る

8. 評価指標グラフ

